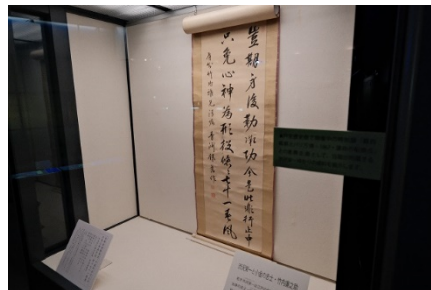


松戸市立博物館 庁内ワーキングでの意見

令和3年7月9日(金曜)開催

こどもわかもの課（子ども部）

- 展示品に関連した資料やこども向けのクイズなどの資料の置き方の工夫（資料を立てて掲示）等、目にとまり、手に取りやすい工夫が出来たらと思いました。
- 資料展会場については、コロナの関係で難しいと思いますが、高齢者向けにも休憩できる長椅子があると良いと感じました。
- 障害者駐車場出入り口について、障害をお持ちの方の団体が市内にも急増し、外出も増えてきました。ワゴン車の利用が多くなっている事から、車の入り口がもう少し分かりやすく、広さがあると良いと感じました。
- 「青天を衝け」関連企画等などは、宣伝効果があるものと感じられました。



**市立博物館で渋沢栄一関連資料
を特別公開します**
副館長 ☎384-8181

戸定歴史館の特別展「幕府再興とパリ万博—1867・運命の転換点」に合わせて、市立博物館で所蔵している渋沢栄一の書を公開します。

会期 8月31日まで
開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
休館日 月曜（祝・休日の場合は明瞭し、翌日休館）
会場 市立博物館常設展示室
観覧料 一般310円、高校・大学生150円（20人以上団体料金あり）

渋沢栄一の書



21世紀の森と広場（街づくり部）

- 子どもを継続的に来館させたいのであれば、例えば映像での解説を増やす等、子どもが興味を持ち理解しやすいような工夫があると良いと感じました。
- 資料1「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画（案）」p.35において、21世紀の森と広場の駐車場環境整備を図っていくと記載があります。博物館の出入口がバス停や東駐車場の近くにあることを踏まえるとアクセスを改善する必要があるのか疑問に思います。また駐車場の管轄は21世紀の森と広場管理事務所であるため、一緒に検討していくべきだと思いました。
- 配付資料において、現状が見えず数値等の提示が必要と感じます。先の実施内容は記載がありますが、どのような方向性や手順で事業をすすめる来館者を増加させようとしているのか見えにくい部分があると感じました。
- 子育て世代や学生等の意見を取り入れていってはいかがでしょうか。

指導課 その1 (教育委員会学校教育部)

【事業目標2 広報戦略について】

- HPは充実していると思います。館内の映像資料の新調かつ、幅広い年齢層向けにできたらいいと思います。

【事業目標3 ターゲット戦略について】

- 子育て世代について：ぬりえはとても良いと思います。スゴロクなどで遊び心を持たせて歴史をたどらせるのも良いかもしれません。幼児向けには、マスコットキャラクターがたくさん登場するなど明るい雰囲気づくりが必要だと思います。
- 学校教育施設等との連携強化について：新学習指導要領などから学校で学ぶべき教材について「博物館に来るとこれが分かる」というアピールポイントが欲しいです。(例) 小学校4年生：ごみの処理について⇒和名ヶ谷クリーンセンター、水の利用⇒下水道公社、小学校6年生：政治について⇒国会議事堂、松戸市議会など

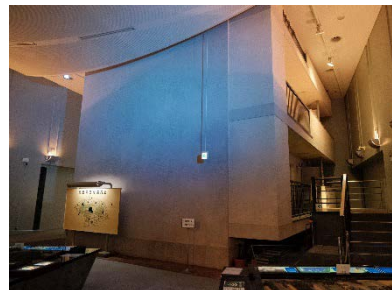
指導課 その2 (教育委員会学校教育部)

【事業目標4 施設戦略について】

- インクルーシブデザインについて：時代区分ごとに背景色を変えるなどの工夫や視覚障がいの方向けに、触れて学べる展示品など工夫が必要だと思います。
- アクセスの改善：バス停から降りて博物館に入りたくなるような入口にしたいです。

【事業目標5 展示戦略】

- 展示方法の改善、目玉である展示物を前面に出すなどインパクトを出したいです。
- 歴史体験ゾーンの整備：（予算等の範囲内で）選択肢を用意してその都度、小中学校などターゲットにニーズ調査を実施し、双方向性の形を取る事が必要だと思います。
- VRツアーとても良いと思います。



生涯学習推進課（青少年会館） （教育委員会生涯学習部）

P8 (5)利用者【課題】

- 子育て世代を一層確実に呼び込むために→子どもたちやその保護者が松戸の歴史文化を知ることによって愛郷心を育むことができるように

P21事業目標3方針（1）他関連箇所

- 子育て世代の博物館の利用支援→子どもたちやその保護者の博物館の利用支援

P29<取組>

- 小学校の高学年や中高生が自ら利用できる内容のプログラムなどを開催します。などの表現で、親がかりだけでなく、小学校の高学年や中高生が自ら利用できる博物館になるとよいと感じました。